

第4回 B&G全国市長会議 第5回 B&G全国教育長会議

【 報 告 書 】

- 第4回 B&G全国市長会議 (2008.1.23)
全国民の“スポーツ・健康・人づくり”を目指して
- 第5回 B&G全国教育長会議 (2008.2.8)
“次世代の育成”をテーマに家庭教育の
重要性を再確認



第4回

B&G 全国市長会議

全国民の“スポーツ・健康・人づくり”を目指して

2008.1.23(水)

目 次

第4回 B&G全国市長会議…………… 1

第4回「B&G全国市長会議」概要……………	2
B&G財団会長あいさつ……………	3
特別基調講演「日本と誇り」……………	4
「B&Gプラン」の推進に向けて(B&G財団事業説明)……………	6
海洋センター修繕事例発表(山梨県甲斐市)……………	8
優良海洋センター表彰……………	9
第4回「B&G全国市長会議」を終えて(参加市長感想等)……………	10
第4回「B&G全国市長会議」写真……………	25

第5回 B&G全国教育長会議…………… 27

第5回「B&G全国教育長会議」概要……………	28
来賓あいさつ……………	29
B&G財団会長あいさつ……………	29
特別基調講演「親学を通じた地域の子育て」……………	30
B&Gプランの推進に向けて(B&G財団事業説明)……………	32
「2007B&G広報大賞」表彰……………	33
優良海洋センター表彰……………	35
海洋センター事例発表……………	35
第5回「B&G全国教育長会議」を終えて(参加教育長感想等)……………	36
第5回「B&G全国教育長会議」写真……………	45
第2回「B&G全国サミット」共同宣言……………	46

第4回「B&G全国市長会議」概要



～ 一丸となってB & Gプランを推進 ～

現職市長50名、副市長など124市から250名が参加

平成20年1月23日（水）、東京都港区の日本財団ビルで、第4回「B&G全国市長会議」が開催されました。この会議は、海洋センター所在自治体の市長が一堂に会し、「青少年育成事業をはじめ、幼児から医療費低減を目指した高齢者までの健康づくり事業など、地域住民の『スポーツ。健康。人づくり』のため、連携・協力体制を深める」ことを目的としています。当日は現職市長50名のほか、副市長・教育長等124市から250名が出席しました。



特別基調講演
日本財団会長
笹川 陽平 様

『日本と誇り』

日本は、古くから優れた文化と伝統を持ち、それを誇りにしてきたが、戦後はそれらの多くが否定され、分断されてしまった。しかし、歴史の連続性を今途切れさせてはならず、駅伝のタスキのように次代に受け継ぎ誇りと自信を取り戻してほしい。

出席者内訳

大 別	区 分	人数
海洋センター関係	市長本人	50名
	代理（副市長・教育長）	23名
	海洋センター関係者	51名
そ の 他	関連団体及び競艇関係者	116名
	マスコミ関係	10名
合 計		250名

「B&G全国市長会議」の会則変更と正副会長の選任が行われました。

会 長：北海道砂川市長 菊谷 勝利 様（中）
副会長：岐阜県可児市長 山田 豊 様（左）
副会長：鹿児島県阿久根市長 斉藤 洋三 様（右）



平成20年1月23日（水）

【B&G全国市長会議】 日本財団ビル2F 大会議室 15:00～17:30

1. B&G財団の紹介（VTR）
2. B&G財団会長あいさつ B&G財団会長 梶田 功
3. 特別基調講演 『日本と誇り』 日本財団会長 笹川 陽平 様
4. 「B&G全国市長会議」会則変更と正副会長の選任
5. 「B&Gプランの推進に向けて」 B&G財団専務理事 広渡 英治
6. 海洋センター事例発表 『修繕助成事例』 山梨県甲斐市長 藤巻 義麿 様
7. 「B&G全国サミット共同宣言」確認
8. 優良海洋センター表彰

【交流会】 日本財団ビル8F 17:40～18:40

B&G財団会長あいさつ



B&G財団

会長 梶田 功

本日は、公務ご多忙のところ、第4回「B & G全国市長会議」に市長様をはじめ副市長、教育長様など、124市のご代表の皆様にご出席を賜り、誠にありがとうございます。

ご高承のとおり、「海洋センター」は昭和51年から平成12年までの間、1,400億円に及ぶ競艇の貴重な収益金により、延べ2,200市町村という多数の応募の中から、全国480の市町村に建設させていただきました。そして、全ての海洋センターが、将来も円滑に運営することをお約束いただきましたので、全施設を地元自治体に無償譲渡させていただきました。

市町村合併もようやく落ち着いてまいりましたが、海洋センターを有する市の数は合併により48市から210市と増え、海洋センター所在地の人口も750万人から2,400万人へと大幅に増加しました。海洋センターが、今後さらに多くの市民の皆さまにご活用いただけるものと期待しているところでございます。

「B & G全国市長会議」は、海洋センターを有する市の市長様にお集まりいただく大変重要な会議でございます。その目的は、B & G財団設立の理念と競艇の貴重な収益金で実施しております当財団事業に対するご理解をいただくとともに、財団と皆様との連携・協力体制をさらに深め、「スポーツ・健康・人づくり」をスローガンとする「B & Gプラン」を推進していくことでございます。

当財団では、海洋センター無償譲渡後も「施設の修繕助成」や「活動助成金」の交付をはじめ、「幼児から高齢者までの健康づくりプログラム」、海洋教育や自然体験を通じた「青少年育成プログラム」の提供など、様々な支援を行っております。

どうぞ、B & G財団の事業を大いにご活用いただき、健康で住みよい地域社会づくりに貢献されますことを心より願っております。

特別基調講演「日本と誇り」(要旨)

日本財団会長 笹川 陽平 様

【プロフィール】



WHO（世界保健機関）ハンセン病制圧特別大使

ハンセン病 人権啓発大使（日本・外務省）

ロシア友好勲章、ミレニアム・ガンジー賞、チェコ・ハセラル大統領記念栄誉賞、
読売国際協力賞など多数受賞。

著書に「この国、あの国」（産経新聞社）、「世界のハンセン病がなくなる日」（明石書店）など。

国内外での活動の記録は「日本財団会長 笹川陽平ブログ」でご覧いただけます。

<http://blog.canpan.info/sasakawa/>

昨年、英国BBC放送がEU諸国を中心に「世界でもっとも好感度の高い国はどこか」という調査をしましたが、そこで日本はいったい何番目に入ったと思いますか？ なんと調査対象121カ国中1番になったのです。

また、ある英国の経済誌が、さまざまな角度から世界121カ国の平和度を調べたところ、日本は5位に入りました。1位はノルウェー、米国は96位でした。近隣諸国からは軍国的だと言われてしまうこともある我が国ですが、国際社会からは実に高い評価を得ています。

かつて、明治の折に日本中を旅した英国の女性探検家は、「規律正しく遠慮深い人が暮らす、こんなに穏やかで美しい国は日本しかない」と評しており、アインシュタイン博士も「日本人は規律正しく、恥を知る民族である」と感動しています。

なぜ、これほどまでに我が国が評価されるのかといえば、それは世界の不思議とでもいうべき、すぐれた国体があるからです。今日に至る世界最古の天皇制は、国の権威の象徴ではあるものの権力は一切持っていません。シーザーにしてもナポレオンにしても、世界史上の皇帝は皆、権威と権力の両方を求めましたが、日本においては、権力を手にした征夷大將軍の源頼朝でさえ、京の権威は認めていました。

ある英国の政治学者は、自身の憲政論のなかで「理想の政治とは、権威と権力が分立することだ」と述べていますが、日本はそのような仕組みを古くから維持しているのです。

では、なぜそのような立派な自国を、多くの国民は評価しないのでしょうか？ 私流の解釈ですが、その原因は第二次大戦の敗戦にあらうかと思います。敗戦によって、多くの知識人は戦前の心情をこぞって転換してしまい、これまでの日本の国体は古くて悪であり、新しく正しいものは欧米にあると考えるようになったのです。そこで哲学や思想、政治などの考え方が変わってしまい、日本人としての誇りすら忘れ去られていったのです。

ところが、農村の荒廃が問われる昨今こそ、二宮尊徳の開拓魂に学ぶことが多いと思うし、新井白石がどのような覚悟で徳川家に仕えたか、彼の自叙伝を読めば役人のあるべき姿が分かると思います。また、中国の人は、よく漢字を我が国に教えたと言いますが、今、中国の人たちが使っている「共産主義」や「資本主義」、「労働」といった近代社会科学の用語のほとんどすべては、明治時代に日本で考案されました。

このように、すばらしい思想や知恵を生んできた先人のDNAは、私たちの体の中に受け継がれているはずですが、日本人の誇りは敗戦によって中断してしまいましたが、このDNAがある限り、再び本来の日本人の良さを見直して子孫に受け継ぐことができるのではないのでしょうか。

世界で一番好感度の高い国に選ばれたとおり、世界はしっかりと私たちが秘めている歴史や文化、人間性を見てくれています。ですから皆さん、是非、謙虚さを大切にしながらも自信を持って生きていただきたいと思います。

そして、株価などに一喜一憂せず、もう少し気楽にして、「経済的な豊かさと精神的な豊かさのバランスが取れたところが一番幸せである」とブータン国王が唱える、国民総幸福量（Gross National Happiness）を考えても良いのではないかと思います。



「B&Gプラン」の推進に向けて (B&G財団 事業説明) ～ 幼児から高齢者までの"スポーツ・健康・人づくり" ～



B&G財団
専務理事 広渡英治

"ハード"から"ソフト"へ

B&G財団は、平成15年の財団設立30周年を機に、事業の主軸を海洋センター建設の"ハード"から、幼児から高齢者までの健康づくりを支援するプログラム提供の"ソフト"へと大きく転換しました。

併せて、海洋センターの活性化、各種支援の公正化を目的に「海洋センター評価」を行い、その結果を公表しています。

評価は、特AからEまでの6段階で、利用状況、指導員の配置、財団事業の活用、情報発信などを点数化したものです。これにより、各種支援を受けることができるB評価以上の海洋センターは、平成15年は267センター（55%）でしたが、平成19年10月の評価では374センター（73%）となり、海洋センターの活動や運営は大幅に改善されています。

海洋センターとのネットワーク強化

*ブロック連協会長（首長）が理事、評議員、専門委員などに就任

従来、海洋センターの活性化と県内のセンター間の連携強化を目的に、道府県ごとに「連絡協議会」が結成されていましたが、さらに県を越えた活動の広域化と活性化を図るため、『ブロック連絡協議会』の設立を推進。平成18年10月にはすべてのブロックで連絡協議会が設立され、スポーツ大会や交流会、地域間での交流などが行われており、今後の活動の活性化が期待されます。

さらに、『ブロック連絡協議会』の会長をお務めいただいている首長の皆さまには、ブロックを代表して、財団へのご意見やご要望をいただくため、当財団の理事、評議員、専門委員などにご就任いただいております。

*海洋センター所在自治体との人事交流

B&G財団では、海洋センターとのネットワーク強化を目的に、海洋センター所在自治体と双方向の人事交流を行っています。平成15年から5年間で16名の自治体職員の皆さんを受け入れ、研修をしていただいております。この研修に係る費用はすべて財団負担となっており、財団事業企画・立案や各種の指導者資格の取得など、たいへんご好評をいただいております。また、財団では、きめ細かな支援を推進するため、全職員を全国それぞれの「ブロック担当」に任命し、これまでに14名の職員を自治体へ派遣しております。この人事交流は、今後も継続していく予定です。

修繕助成の新たな支援

自治体の皆さまから一番ご要望の多い修繕助成事業は、事業開始となった平成5年から18年までの12年間（平成11・12年度は事業休止）で、627施設、総額33億円の助成を行っておりますが、さらに今回、従来の修繕助成に加えて、新たに3つのメニューを設けました。

1つ目は、**艇庫のトイレ・シャワーの新・増設に対する助成**です。早期に建設された艇庫施設には、簡易屋外トイレが設置されているものの、シャワー等の設備は設置されていませんでした。財団にはこれまでも、トイレ・シャワー増設のご要望を多数いただいております。昨年、制定された『海洋基本法』では"海洋性レクリエーション普及のための措置を講ずる必要性"が謳われていることから、5年間の期間限定で、艇庫のトイレ・シャワーの設置について、特別の助成を行うことといたしました。助成率の上限を80%、限度額500万円として助成いたします。

2つ目は、**海洋センターの機能変更・移転についての助成**です。機能変更については、特に上屋付きプールの老朽化が進行しており、これまで大規模な修繕も行われず、やむなく休館する自治体も見られるようになりました。財団としては、老朽化して危険のある建物は撤去してもらわなくてはなりませんが、撤去にも多額の資金が必要となります。そこで、例えば、プールの上屋を生かした活用の一例として、プール缶体を埋め戻し、屋内ゲートボール場に変更するなどの機能変更に対して助成を行います。

また、主要道路の拡幅や災害地域の指定など、特別な事情により、海洋センターを移転せざるを得ない場合にも助成金を活用できるようにしました。機能変更・移転ともに、通常修繕に準じた助成限度額（艇庫：500万円、プール・体育館：2000万円）とし、助成率の上限は50%です。

3つ目は、**通常修繕の2回目以降の申請**です。これは、財政的な問題から一度に全部の修繕ができなかった場合、例えばプールの上屋シートの全面張替はできたが、上屋鉄骨、プール缶体の全面塗装ができなかった時などに、各施設の助成限度額（艇庫：500万円、プール・体育館：2000万円）まで、活用していない海洋センターを対象に、限度額の範囲内で2回目の申請を受け付けることといたしました。

このように修繕助成の適用範囲が大きく広がっております。ぜひともご活用いただき、海洋センターの機能向上、利用者満足度の向上に努めてください。

財団からのお願い

*B&G指導員の養成・配置

ずさんな施設管理により大惨事となった埼玉県の流れプールでの事故や、ライフジャケットを着用せずに幼い命が奪われたプレジャーボートの事故など、悲惨な事故が後を絶ちません。今改めて、指導者の重要性について考えていただきたいと思います。

海洋センターは、単に利用者に施設を貸すためだけのものではありません。施設の適正な維持管理、最新の技術等を身につけた指導者が、マリンスポーツをはじめとする各種スポーツ教室、大会・イベントなどを通して、礼と節を教え、B&Gプランを推進する施設です。

昨今の財政難等により、指導員を配置できないといった状況は、私どもも充分認識しておりますが、何よりも事故を起こさない対処が必要です。今年から3年間、B&G指導員の養成研修の参加費を免除しておりますので、ぜひ、この機会に最新の安全技術、指導法を身に付けた新しい指導者の養成をお願いします。講師陣もオリンピックのメダリストをはじめ、実技、講義に一流の講師が指導いたします。

*指導者会の設立推進

B&G指導員の有資格者が人事異動等で他部署に配属となっている方々がいらっしゃると思います。既に大会や教室開催時に、こうした方々と協力体制を整え、安全性の確保、活動の活性化に結び付けている海洋センターが多数あります。これを機に、B&G指導員の人材活用として所属部署を超えた指導者会の組織化をご検討いただきますようお願いいたします。

*財団事業の積極的な導入

財団ではこれまでも時代のニーズに合った様々な事業を展開してまいりました。そして、"ハード"から"ソフト"への転換を機に、さらにスポーツと健康、海洋教育に関するプログラムの開発・普及に努めております。また、他団体とお互いの得意な分野で協力し合い、よりよいプログラムを提供していくという、他団体との連携協力事業も積極的に推進しております。

どうか、これらの財団各種事業を導入いただき、地域住民の健康づくりにご活用いただきたいと思います。財団では今後も、改良・改善を重ねながら、地域に役立つより良い事業を広く展開していきたいと考えています。

海洋センター修繕事例発表

山梨県甲斐市長 藤巻 義麿 様



甲斐市双葉B&G海洋センター・プールは、旧双葉町時代に開設して以来、多くの住民に利用されてきましたが、平成18年度、B&G財団の修繕助成を活用して大規模な改修工事に着手。晴れて平成19年4月11日に施設の使用が開始されました。

この修繕のコンセプトは、海洋センタープールの利用期間の延長化を図り、利用者層の拡大化を目指すもので、屋内化、温水化、暖房化、および歩行専用コース化などを行いました。B&G財団からは、総工事費約1億2千万円のうち、2千万円の修繕助成をいただくのですからコストを抑えながらも利用価値を高めたいと考え、大胆ではありますがプールサイドをガラス張りにして南アルプスなどの美しい山並みを見ることができるよういたしました。おかげさまで、利用者にはとても好評で、平成19年度のプール利用者数は4～11月で、約10,000人を達成しています。

メタボリックシンドロームの問題が語られる昨今、体を動かすことの必要性が叫ばれていますが、高齢者の場合は、軽いスポーツでも腰や膝を痛めてしまうことが少なくありません。水中ウォーキングにはそのような心配はありませんし、短時間でカロリーを燃焼させることができる効率の良い運動です。より多くの市民、特に高齢者の方々に水中ウォーキングを続けていただくことで、わが市の医療費5%削減（年間30億円の削減）という目標も達成できるのではないかと考えています。

最後に、海洋センターの建設から現在の修繕助成まで、多岐にわたるご支援を賜りましたモーターボート競走関係者の皆様方に対し、この場をお借りしてお礼申し上げます。



ウォーキング専用コースを増設、併せて階段スロープを設置しました



南アルプスなどを眺望できるようプールサイドをガラス張りとししました

優良海洋センター表彰

B & G 財団では、全国480海洋センターに対して公正な支援を行うため、「特A」から「E」までの6段階による海洋センターの評価を行っています。今回は、昨年10月の評価において、「特A」及び「A」に評価された100ヶ所のうち、本会議に出席した45センターを表彰しました。

「特A」 評価の海洋センター



全国市長会議出席センター（9ヶ所）

- | | |
|---------------|--------------|
| ★ 北海道 滝川市 | ★ 秋田県 能代市 |
| ★ 埼玉県 鶴ヶ島市 | ★ 千葉県 南房総市千倉 |
| ★ 富山県 高岡市福岡 | ★ 岐阜県 可児市 |
| ★ 兵庫県 南あわじ市南淡 | ★ 岡山県 瀬戸内市邑久 |
| ★ 香川県 三豊市高瀬 | |

「A」 評価の海洋センター

全国市長会議出席センター（36ヶ所）

- | | | | |
|--------------|----------------|---------------|-------------------|
| ★ 北海道 砂川市 | ★ 北海道 室蘭市 | ★ 岩手県 花巻市東和 | ★ 岩手県 陸前高田市 |
| ★ 宮城県 登米市中田 | ★ 宮城県 登米市米山 | ★ 宮城県 登米市迫 | ★ 秋田県 にかほ市象潟 |
| ★ 茨城県 行方市玉造 | ★ 栃木県 那須烏山市南那須 | ★ 千葉県 香取市小見川 | ★ 富山県 南砺市福野 |
| ★ 石川県 七尾市 | ★ 山梨県 甲州市塩山 | ★ 長野県 大町市 | ★ 静岡県 掛川市 |
| ★ 三重県 伊賀市大山田 | ★ 滋賀県 高島市高島 | ★ 京都府 南丹市八木 | ★ 兵庫県 姫路市家島 |
| ★ 兵庫県 芦屋市 | ★ 島根県 江津市桜江 | ★ 島根県 雲南市加茂 | ★ 岡山県 津山市加茂 |
| ★ 徳島県 徳島市 | ★ 香川県 三豊市財田 | ★ 愛媛県 松山市中島 | ★ 愛媛県 今治市朝倉 |
| ★ 愛媛県 今治市大三島 | ★ 愛媛県 今治市吉海 | ★ 佐賀県 神埼市 | ★ 長崎県 佐世保市小佐々 |
| ★ 熊本県 宇城市三角 | ★ 鹿児島県 阿久根市 | ★ 鹿児島県 日置市東市来 | ★ 鹿児島県 いちき串木野市串木野 |



第4回「B&G全国市長会議」を終えて

「B & G 全国市長会議」参加市長感想等



北海道砂川市長
B&G財団理事・全国市長会議会長
菊谷 勝利 様

▶ 感想・今後期待すること

海洋センターという共通項で結ばれた、全国ネットワークの組織は貴重な財産である。

今回、新たに加わられた市長の方々にとっても、理解しやすい内容であったと思う。

この市長会議を通じて情報交換を行いながら、市長会の会長として、B & G財団と協力体制を深め、互いの活性化につなげていきたい。



岐阜県可児市長
B&G財団評議員・全国市長会議副会長
山田 豊 様

▶ 感想・今後期待すること

今回の全国市長会議での優良海洋センター表彰に於いて、特A評価を受けましたことは大変名誉なことでもあります。今後も当海洋センターを「スポーツ・健康・人づくり」の拠点として積極的に活用し、中部ブロック内の連携を一層強化するとともに、市民の健康やコミュニティづくり、住みよい地域社会の確立を進めるべきことを再確認いたしました。また、日本財団会長笹川陽平氏の基調講演「日本と誇り」は大変興味深く拝聴いたし、ユーモアの中にも日本・日本人の誇りを自覚させられました。



鹿児島県久根市長
B&G全国市長会議副会長
斉藤 洋三 様

▶ 感想・今後期待すること

B & Gというつながりの中で、全国から関係市長が一堂に会する機会をつくっていただき感謝いたしております。各自治体の取り組み状況などをお聞きし、また懇親会ではお互いの情報交換もでき、今後の取り組みを考える上でも貴重な会議となっております。また、今回、引き続き副会長という重職を任されました。もとより微力ではありますが、全国市長会議が有意義な会となりますよう努力してまいりますので、御指導・御鞭撻のほどよろしくお願いいたします。



北海道名寄市長
島 多慶志 様

▶ 感想・今後期待すること

前回2006年1月27日に続いて今回も出席し、笹川会長の基調講演を拝聴させていただきました。国政が安定しないなかで改めて「日本と誇り」の内容は多くの国民に聞いて欲しい内容でした。スポーツ、健康、人づくりに一層の御発展を祈念いたします。



北海道室蘭市長
新宮 正志 様

▶ 感想・今後期待すること

限られた時間ではありましたが、第4回B & G全国市長会議に出席させていただき、大変有意義な時間を過ごさせていただきました。室蘭市では、港を生かしたまちづくりに取り組んでおり、海洋センターについてはすばらしいロケーションの中で、青少年の健全育成を図るための中核を担う施設として、ヨット教室等様々な事業に取り組んでおり、多くの利用者で賑わっております。今後とも、本市の取り組みに対し、B & G財団の皆様のご指導、ご支援をお願い申し上げます。



岩手県八幡平市市長
田村 正彦 様

▶ 感想・今後期待すること

笹川会長の特別基調講演では、普段触れることない日本の側面の話を、興味深く拝聴させて頂きました。また、事例発表についても興味深く拝聴させて頂きました。当市は北東北3県のほぼ中心に位置し、多くが山間部のため冷涼であり、今後は高齢化も益々進むことが予想されます。今回の事例等を参考にし、海洋センターを新たに活かしていきたいと思っております。



宮城県登米市長
布施 孝尚 様

▶ 感想・今後期待すること

全国から多くの市長が参加し、意義深い会でありました。青少年から高齢者まで幅広い事業の事例は、当市にとっての財産になりました。B & G財団には、当市から職員を派遣研修で受け入れて頂いておりますが、多くの事柄を学んでいるようで、今後の活躍が大変期待されます。ひとづくりは出会いから始まります。これからも貴財団との関わりを通じて沢山の出会いと気づきがありますこと、ご期待申し上げます。



秋田県能代市長
齊藤 滋宣 様

▶ 感想・今後期待すること

「第4回B & G市長会議」において、「特A」という名誉ある評価をいただき、身に余る光栄に存じます。当センターは、昭和55年竣工以来28年経過しておりますが、平成18年にB & G財団の修繕助成のおかげで、内外壁の改修塗装、第一体育館床改修、及び屋根の全面改修塗装など新築同様に綺麗に明るくなり、改修後は利用者の増につながっております。心より厚く御礼申し上げます。今後もシーサイドスポーツリゾート地区の中心施設として青少年はもとより、高齢者の転倒予防教室など、これまで以上に市民の利用が増えるものと確信しております。今後ともご指導ご鞭撻、そしてご支援いただきたくよろしくお願い申し上げます。



栃木県那須烏山市長
大谷 範雄 様

▶ 感想・今後期待すること

「日本と誇り」と題する基調講演には大変感動致しました。日本人の一人として自信と誇りを持って生きる教訓をいただきました。ご健勝をご祈念申し上げます。



新潟県胎内市長
B&G財団理事
吉田 和夫 様

▶ 感想・今後期待すること

この会議に出席し、幼児から高齢者の健康づくりを海洋教育や自然体験を通じ、健康で住みよい地域社会づくりになお一層邁進しなければと意を新たにしました。



富山県高岡市長
橋 慶一郎 様

▶ 感想・今後期待すること

笹川会長の講演はユーモアに溢れ、楽しく拝聴させて頂きました。事例発表、交流会では他の海洋センターの活動が大変参考になり有意義な会合でした。19年度は体育館の大規模修繕に助成して頂き、また「海洋センター評価」では、竣工後初めて特A評価を頂き、大変光栄に思っています。ありがとうございました。特A表彰の範となりますよう、これからも、青少年の育成・マリンスポーツの普及・施設の利用促進に、積極的に取り組んでまいりたいと思いますので、ますますのご支援をお願いいたします。



富山県砺波市長
安念 鉄夫 様

▶ 感想・今後期待すること

毎回、日程の調整を行い極力出席させていただいておりますが、全国の出組状況等の情報交換を行ったり、財団の皆様と親しく懇談できる機会を楽しみに参加いたしました。中でも、笹川会長の講演を聞き、日本人本来の気質を大切に生きる幸せや喜びを継承する必要性をあらためて感じた次第であります。また、交流会の席上では、笹川会長からお近づきいただき、親しくお話させていただいたことも喜びでありました。今後とも、ご指導とご支援を賜りますようお願い申し上げます。



山梨県甲斐市長
B&G財団助成事業審査委員会委員長
藤巻 義麿 様

▶ 感想・今後期待すること

今回、修繕事例発表の機会をいただきありがとうございました。
笹川会長の講演はすばらしく、B & Gプランの推進に向けての説明、全国の市長との意見・情報交換ができ、有意義な会議でした。今後の行政運営に役立てていきたいと思います。



山梨県甲州市長
田辺 篤 様

▶ 感想・今後期待すること

感想に先立ち、この度は本市B & G甲州市塩山海洋センターにA評価をいただきましたことは、市並びに施設職員にとりましても栄誉であり、心からお礼申し上げます。これからも、より市民ニーズに対応した事業展開や施設管理を行い、更なる評価をいただけるよう施設運営を行ってまいりたいと思います。

今回の市長会議におきましては、限られた時間の中で効率的に運営され非常に有意義なものでした。特に笹川陽平会長の特別基調講演は、日本の評価、外国から見た日本などとても興味深いものであり、今後の市政運営への取り組み等に変参考になるものでありました。



山梨県山梨市長
中村 照人 様

▶ 感想・今後期待すること

山梨市は、平成17年3月22日に一市一町一村が合併いたしました。山梨市牧丘B & G海洋センターは、合併前は牧丘町に所属していた関係で、市長会は今回初めての参加となりました。会議に先立ち、「B & G財団の紹介」のVTRを拝見し、改めて住民の健康と、青少年の健全育成等に幅広く取り組まれていることに、感謝しているところです。また、日本財団笹川会長による「日本と誇り」と題して特別基調講演いただき、普段では聞くことのできないお話まで聞かせていただき、再認識しているところです。議事の中で、「B & Gプランの推進に向けて」や「事例発表」など参考になりましたので、本市でもB & Gプランの事業等を取り入れて行きたいと考えております。



山梨県北杜市長
白倉 政司 様

▶ 感想・今後期待すること

市町村合併して3年の北杜市としてはじめて参加させていただきました。地方が大変厳しい時代ではありますが、貴財団の地方への支援に感動しました。北杜市も知恵を出して地域を活性化していきたいと思っています。4月より職員が研修でお世話になります。今後よろしくお願いいたします。



長野県中野市長
青木 一 様

▶ 感想・今後期待すること

市・村の合併に伴い今回初めて出席させていただきました。各地域での取り組みの状況がつぶさにわかり大変参考になりました。今後も施設の維持管理に努めて参りますので、より一層のご指導ご鞭撻の程よろしくお願いいたします。



静岡県掛川市長
戸塚 進也 様

▶ 感想・今後期待すること

私は、市の公務で、会長笹川先生のお話の途中で失礼いたしましたので全部はわかりませんが、笹川会長の天皇家の質素な御生活のことなどはたいへんよく理解でき、多くの人々にこのことを知ってもらいたいと思いました。国際感覚あふれるお話だったと思います。



三重県伊賀市長
今岡 睦之 様

▶ 感想・今後期待すること

第4回B & G全国市長会に参加させていただき、基調講演、事例発表等、大変有意義に拝聴させていただきました。当市では、今後も海洋センターの善良なる維持・管理に努め、B & G財団や全国の市町村と連携をさせていただき、地域の活性化、青少年の健全育成や市民の健康づくりの推進に努めてまいります。



滋賀県米原市長
平尾 道雄 様

▶ 感想・今後期待すること

全国各地域の様々な取組、情報を見聞きすることができたこと、また、笹川先生の貴重なお話をお聞きすることができ、大変有意義な時間を過ごすことができました。B & G財団には、様々な活動、修繕事業を引き続き行っていただき、地方自治、市民とともに地域を支える新たな役割を担う市役所、地域をぜひこれからも支えていただきたいと思います。



滋賀県高島市長
海東 英和 様

▶ 感想・今後期待すること

あらゆる立場、方向からご教授いただけます笹川会長の基調講演を楽しく拝聴させていただきました。限界集落を多く抱える地域、また、水源の里として、健康づくりや水を愛し親しむ事業をB & G財団と協働で実施し、その役割を果たしていきたい。また、このたびは団体表彰をいただき、施設管理者の励みとなりました事、厚く御礼申し上げます。



京都府宮津市長
井上 正嗣 様

▶ 感想・今後期待すること

他の自治体と交流ができたことは大変よかった。今後もこうした機会を多く持っていただきたい。B & G財団には、地方分権型社会の構築に向け一層のご支援をお願いしたい。



京都府南丹市長
佐々木 稔納 様

▶ 感想・今後期待すること

意義深い会議であったと存じ、梶田会長様をはじめ貴財団の役職員皆様の平素からのご尽力とご熱意にあらためて敬服いたしました。また、笹川会長様の講演は、現代日本の課題について大局的な見地からの示唆を賜りました。ありがとうございます。今後の施設運営に対しても、方向性を見出すことが出来、感謝しております。



兵庫県芦屋市長
山中 健 様

▶ 感想・今後期待すること

笹川会長の講演をはじめ、B & G財団の取り組みや事例発表など興味あるお話を聞くことができ、大変参考になりました。また、B & G財団と連携する全国各地の市長の方々と情報交換を行うなど有意義な時間を持つことができました。



兵庫県篠山市長
酒井 隆明 様

▶ 感想・今後期待すること

海洋性スポーツを通じた青少年の心身の育成を主な目的とするB & G財団の意義や今日までの実績について、改めて学ばせていただく良い機会となりました。また、全国からお越しの各都市の市長さんとの意見交換や交流ができましたことも嬉しく思っております。お世話になりありがとうございました。



兵庫県南あわじ市長
中田 勝久 様

▶ 感想・今後期待すること

日頃より、当海洋センターへの御支援御協力に深く感謝申し上げます。先日の第4回B & G全国市長会議では大変有意義な時間を過ごさせていただきました。特に笹川日本財団会長の「日本と誇り」をテーマとした基調講演は、これからの日本のあるべき姿を捉えた内容を、興味深く拝聴いたしました。また、このたび「特A」という名誉ある評価をいただき、大変ありがたく心から感謝申し上げます。私ども南あわじ市においても、地域の皆様の健康づくりと、地域活性化に向けて「食がはぐくむ ふれあい共生の都市」をまちづくりの政策に掲げ、一丸となり知恵を絞り、最大限の努力をしております。今回評価いただきましたことを機に、更に貴財団理念の普及に邁進し、また貴財団事業を有効的に活用させていただき、精進に努める所存です。またB & G財団及び全国のセンター所在市町村との連携を密にし、これからの日本の将来のため、全力を投じていきたいと思います。ご用命とあれば、ぜひ南あわじ市を活用いただきますようお願い申し上げます。

今年度、当市海洋センター艇庫に対する修繕助成並びに舟艇再配備や事業に対する格別の御配慮を賜り厚くお礼申し上げます。要望といたしましては、今後も老朽化する施設に対する施設修繕並びに舟艇器材等に関する助成の継続を望みます。ブロックや連協組織強化に必要な活動助成の援助を積極的にお願います。



兵庫県淡路市長
門 康彦 様

▶ 感想・今後期待すること

笹川会長の講演「日本と誇り」の中で、普段気づくことができない外国からみた日本、日本の評価に対する話をわかり易く、興味深く聞かせていただき感謝している。日本を構成する1つの自治体の長として今後の市制への取り組みの参考となった。また、事例発表等では、財団の進める"スポーツ。健康。人づくり。"に向けての財団と自治体との連携・協力体制について理解を深めることができた。

海洋センターの活用のあり方について、自治体と共にさらに工夫を重ね、現代の課題に応じた市民や子どもたちへのスポーツ推進、健康づくりを具体的な方策を交えて進めていただきたい。



島根県雲南市長
速水 雄一 様

▶ 感想・今後期待すること

B & G 全国市長会議に参加させていただき、各自治体の積極的な健康づくり活動に接し、当市の生涯スポーツの推進に大いなる啓発心を抱かせていただきました。今後ともB & G施設を活用した町づくりに努めたいと存じます。



岡山県瀬戸内市長
立岡 脩二 様

▶ 感想・今後期待すること

「日本の誇り」を取り戻せという笹川陽平会長の講演を聴き、胸のつかえが取れた。日本の伝統と言われるものの中でいいものについては国内外に強くアピールしていくべきだと思う。また、それぞれのふるさとには良いものがたくさんある。そういうものを自信をもって前面に打ち出していき、活動につなげていってほしい。それから子供たちにももっと体験学習をさせるべきだと思う。言葉だけでは伝えられないものがたくさんあるからだ。瀬戸内市では、カンボジアのシェリアップ州に一般から公募した市民をN G Oとともに派遣し、小川に橋を架けるなどの国際貢献事業に従事してもらうことで若者の体験活動を推進している。これには中・高校生も参加しており、「今の日本の暮らしがいかに恵まれているか実感した」という感想も寄せられた。



岡山県赤磐市長
荒嶋 龍一 様

▶ 感想・今後期待すること

B & G 全国市長会議、大変お世話になりました。ありがとうございます。笹川会長のすばらしい講演を頂き非常に参考になりました。日本の「青い海と緑の大地」を活用した自然体験、海洋性スポーツなどを通じた青少年の健全育成、壮大な構想に感謝しております。我々も次世代を担う子ども達、元気な子ども達をスポーツを通じて育成していきたいものです。



岡山県浅口市長
田主 智彦 様

▶ 感想・今後期待すること

私は昔、新国劇や吟詠のことで笹川良一会長にお世話になり、このたび、陽平会長の講演をお聞きしながら懐かしい思い出がよみがえりました。良一会長は、いわゆる世のため人のために八面六臂の大活躍でしたが、その理念、思いをB & Gが引き継がれていて嬉しく思います。



広島県尾道市長
平谷 祐宏 様

▶ 感想・今後期待すること

海事都市を目指す尾道市としては、講演会・事例発表等、大変参考になりました。今後とも施設の修理改修が必要になりますのでご援助ご協力のほどよろしくお願い申し上げます。



広島県安芸高田市長
児玉 更太郎 様

▶ 感想・今後期待すること

会議に出席して、何時も感じる事は会議の進行、接待など心のこもった対応には感心します。我々行政も見習うところがあります。ご講演の中にもありました、心を大切にする日本人の古い伝統の良さを強調された、心意気が感じられました。



香川県三豊市長
横山 忠始 様

▶ 感想・今後期待すること

笹川会長の講演は、勉強になりましたし、元気づけられました。B & G財団の皆さまが、梶田会長を先頭に力をあわせて努力をいただいているお気持ちが伝わってきて、あらためて本市の施設も頑張らなければと強く思いました。いろいろな市長さんとも懇親会で親しくお話しが出来、有意義な時間を過ごすことが出来ました。いい会議でした。



福岡県柳川市長
B & G財団理事
石田 宝藏 様

▶ 感想・今後期待すること

日本財団 笹川陽平会長の講演は大変参考になり、人間形成、日本人の心を改めて省みることのできるいい話でした。体験からにじみ出る中味の濃い話を次の機会もお願いします。また、B & G財団の様々なソフト事業の事例発表も、いま少し掘り下げて欲しかったと感じました。



福岡県みやま市長
西原 親 様

▶ 感想・今後期待すること

- ・ 笹川会長の講演が大変良かったと思います。
- ・ 市長の出席が少なかったのではないのでしょうか？
- ・ 岸ユキさんの話も聞きたかったのですが。
- ・ 梶田会長のあいさつも簡潔で良かったと思います。



佐賀県神埼市長
松本 茂幸 様

▶ 感想・今後期待すること

同じ施設を有する自治体の首長と、地域活性化と青少年の育成課題について、意思の疎通が出来て、新たな取り組みを聞くことができ意義深いものと思います。笹川会長の話を拝聴し、感動しました。地域の子ども（中学生・高校生）に聞かせたいものと思います。このことが実現できればと強く要望します。



熊本県宇城市長
阿曾田 清 様

▶ 感想・今後期待すること

笹川陽平会長の講演は大変考えさせられました。品格を、もう一度見つめ直してみたいと思います。B & G財団の事業メニューも新たに確認でき、事例発表も参考になりました。認識を改めたのは、指定管理者制度導入や運営委託がなされたので、検討してみたいと思いました。



大分県日田市長
佐藤 陽一 様

▶ 感想・今後期待すること

昨年8月に市長に就任し、初めて出席させていただきました。当市は6市町村が合併し、将来に夢や希望のもてる市づくりを進めていかねばなりません。その中で財団の支援により、施設の充実ができ地域振興、青少年教育の充実等が図られている事例は大変参考になりました。



大分県佐伯市長
B & G財団理事
西嶋 泰義 様

▶ 感想・今後期待すること

市長会議へ全国から大変多くの関係者が出席しており、貴財団を軸とした健康づくり・人づくりの活動が全国に広がっていることを改めて認識しました。私は昨年度から北九州ブロックの会長に就任し、さらに本年度からB & G財団の理事に就任させていただきました。今後もその職責をしっかりと果たすと共に、当市にある6つの海洋センターを市民のために有効活用できるよう頑張りますので、ご支援をよろしくお願いします。



大分県杵築市長
八坂 恭介 様

▶ 感想・今後期待すること

市町村合併により、全国市長会議も盛大となり喜んでいきます。B & G財団の永年の功績が、改めて市となった自治体に認知されたものと存じます。益々のご発展を念じております。
高齢者対策としてのB & G財団独特の健康体操やプログラムを作成し、指導者を育成するとともに、派遣制度を望みます。



大分県宇佐市長
時枝 正昭 様

▶ 感想・今後期待すること

日本財団会長 笹川陽平氏による特別基調講演をはじめ、B & G財団の各種制度、事業等説明は大変参考になり、有意義な会議でした。当市施設におきましても、現在老朽化のため修理・改修が急務となっておりますので、その際にはご支援を賜りますようお願い申し上げます。また、ソフト事業面に関しましてもこれまでと変わらぬご指導、ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。



大分県由布市長
首藤 奉文 様

▶ 感想・今後期待すること

笹川陽平氏の講演に多くのことを考えさせられ、また、大変よい勉強になりました。今後、財団の補助制度を充分研究して地域振興発展の為に利用させていただきたいと思っています。



大分県中津市長
新貝 正勝 様

▶ 感想・今後期待すること

B & G全国市長会議に出席し、いろいろな事業内容を知ることができ大変勉強になりました。また、笹川日本財団会長のお話は、日本の良い点を再確認すると共に、なかなか言えない点をズバリと言われ大変勇気のあるお話に感銘を受けました。



大分県竹田市長
牧 剛尔 様

▶ 感想・今後期待すること

初めての参加で、B & Gの活動内容、状況等あらためて知ることが出来ました。また、日本財団 会長 笹川陽平様の「日本と誇り」の御講演も（目からうろこ）大変楽しく拝聴させていただきました。本年は直入町の体育館の修繕に格別のご配慮をいただき、今また新しく甦る事が出来、利用者も喜んでおります。ありがとうございます。



大分県豊後高田市市長
永松 博文 様

▶ 感想・今後期待すること

今回はじめての参加でしたが、講演会や修繕事例発表等は、たいへん参考になりました。B & G財団のスローガンに「スポーツ・健康・人づくり」とあるように、本市も平成17年の合併以来「融和・活力・健康」を掲げ、まちづくりに取り組んでいる最中です。今後とも、B & G海洋センターを広く活用させていただき、市民の健康づくりを積極的に推進して参りますので、ご協力の方お願いいたします。



鹿児島県奄美市長
平田 隆義 様

▶ 感想・今後期待すること

平成18年3月の市町村合併によりB & G施設を継承しました。奄美市長として初めて会議に出席し、B & G財団の理念や笹川会長の世界的な活躍に感銘を受けたところです。また、修繕事例発表も大変参考になりました。今後とも本市施設の有効活用に努め、健全な社会の構築を図ってまいりますので施設の維持管理等についてご指導・ご支援賜りますようお願い申し上げます。



鹿児島県霧島市長
前田 終止 様

▶ 感想・今後期待すること

第4回B & G全国市長会議に出席し、貴財団の日本全国「人づくり・健康づくり」に、ご尽力・活動されておりますことに衷心より感謝の意を表します。今回初めて会議への参加でありましたが、B & G財団の役割、目的を知り得、深く共感するところであります。今後におかれてもB & G財団の一層のご活躍をご祈念申し上げます。



鹿児島県いちき串木野市長
田畑 誠一 様

▶ 感想・今後期待すること

輝く日本の未来、ゆるぎなき民族の誇りある更なる構築を追い続けて、明日へはばたく青少年の健全育成の為に「夢は大きく、志は高く」1400億円にも及ぶ競艇の貴重な収益金により全国480市町村に海洋センターを建設、所在地人口2400万人…と、その壮大な実績に魂を揺り動かされました。笹川陽平先生のご講演も素晴らしく、深い感銘と共にもったいない思いで拝聴させていただきました。

■ 岩手県陸前高田市 戸羽 太 副市長

全国各地の自治体から首長さん達をはじめ多くの出席があり、改めてB & G財団の青少年健全育成に対する考え方、素晴らしさを再確認させていただきました。

■ 秋田県由利本荘市 村上 隆司 副市長

全国民のスポーツ・健康・人づくりを目指してのスローガンのもと開催された会議は、B & G財団の業務内容等説明され大変有意義な会議であったと思います。会議に要望や質問の時間があれば、なお良かったと思います。

■ 秋田県にかほ市 横山 昭 副市長

日本財団 笹川会長の特別基調講演が意義深いものであった。

■ 茨城県小美玉市 鶴町 和夫 副市長

第4回「B & G全国市長会議」では、笹川会長の貴重な講演や情報交換を交わすことができ、大いに参考となりました。ますますの財団のご発展を期待するとともに、今後も青少年の健全育成と、子どもからお年寄りまでの体力づくり推進に、お力添えをいただきたいと思います。今後とも会議の開催、さまざまな財政支援をお願いいたします。

■ 茨城県行方市 根本 博文 副市長

関係市相互の情報交換としての場の設定が有意義。

活動実績報告書は、他市との比較の中での当市の位置づけが確認できて有意義。

■ 茨城県常陸太田市 梅原 勤 副市長

B & G財団や、他の海洋センター所在市でどのような活動を行っているのかがわかり、とても参考になった。当市の海洋センターで取り入れられそうだが未実施の事業や組織づくりなどもあったので取り入れられるか検討したい。この会議についてはB & G財団や他市の情報を得られる良い機会なので是非今後も続けていってほしい。

■ 新潟県燕市 金子 光雄 副市長

大変ありがとうございました。有意義な会議でありました。特に、笹川会長の講演時間をもっと長くしていただきたいと思います。当市の市民にも聞いていただきたいくらいです。毎年、会合があってもよいくらいでした。（団塊世代の時代ですので、高齢者向けのプログラムにも力を注いでいただきたい）

■ 富山県南砺市 清都 邦夫 副市長

全国津々浦々からの参加で大きな盛り上がりがあり、圧倒される気持ちであった。講演にもあったように、それぞれの市がその大小に関わらず誇りと自信を持って地域づくりを進めていかなければならないと、あらためて強く感じた。

■ 長野県大町市 相澤 文人 副市長

B & G財団の事業概要について、直接市長等に対して分かりやすく説明いただき、大変参考になりました。今後においても、B & G財団の基本理念を踏まえつつ、海洋センターの運営を心掛けてまいりたいと思いますので、ご指導のほどお願いいたします。

■ 滋賀県甲賀市 今井 恵之助 副市長

会議に出席させていただき、B & G財団の事業への理解を深めることができました。その取り組みは、青少年の育成や健康で住みよい地域社会づくり役立っていることを改めて認識させていただき、有意義であったと思います。我が市は、平成20年度もチャレンジデーに挑戦し、また、海洋センターの有効な利活用により、青少年の育成、住民参加のまちづくり、市民の健康づくりに努めてまいります。

■ 岡山県津山市 三宅 洋子 副市長

～全国民の“スポーツ・健康・人づくり”をめざして～をテーマに開催された第4回B & G全国市長会議に参加させていただきありがとうございました。また平素から本市の業務につきましては格別のご指導を頂いており厚く感謝申し上げます。今回の会議で財団から報告のあった、助成内容の拡大については一部の都市を除いて全国ほとんどの都市は財政的に非常に厳しい状況下であるため、財団の助成内容の拡大については財源

不足の地方自治体にとっては大変有難いことと思っています。今後とも、ソフト・ハード両面のご支援をよろしくお願いします。

幼児プログラムから高齢者の寝たきり転倒予防プログラムまで、幅広いプログラムがあり、現在地域にも広めて参加者にも人気です。その中でもっと多くのプログラムを活用して教室を開講していく為に、講師派遣の機会をもっと多く設けていただきたいと思います。現在は、特に高齢者を対象とした教室を開催しています。

■ 山口県岩国市 大伴 國泰 副市長

平成18年3月に1市7町村が合併し、B & G海洋センター所在の市となり、この度、初めて「B & G全国市長会議」に出席させて頂きました。少々戸惑いもありましたが、財団職員様の心温まる対応に安堵いたしました。大変、感謝申し上げます。また、会場には各自治体から200名以上の出席者があり、B & G財団組織の大きさに驚かされました。

『B & Gとは何なのか?』わからないままでの出席でありましたが、B & Gプランや各種事業説明等によりまして、十分理解できました。当市B & G海洋センターにおきましても、財団事業を活用して青少年の健全育成や高齢者の健康増進等に繋げる活動をしていかなければと考えます。今後とも、ご支援ご協力のほど、よろしくお願い申し上げます。

■ 徳島県阿南市 安生 有希 副市長

この度、市長代理として初めて出席させていただきました。財団法人B & G財団が果たしてきた役割に対して心から感謝申し上げますとともに、全国に広がるネットワーク及び運営面におけるフォローアップの細やかさに感心致しました。今後も当市におけるB & G事業について、御指導を賜りますよう宜しくお願い致します。

■ 鹿児島県日置市 湯田平 浩美 副市長

市長の代理としてはじめて出席しました。小生、昭和60年に海洋センター誘致に携わり、B & G財団がこれまで海洋性スポーツ等を通じて青少年の健全育成に長年取り組まれ、その成果が現れていることは十分承知しておりました。このたびの笹川会長の講演やB & Gプランの推進などの説明、他団体との交流を通じて、さらに認識を深めることができました。本市は20年度指定管理者に委託しますが、本事業目的達成のため、今ま

で以上に成果があがるように連携して取り組んでいく所存であります。

設置以来20年以上経過したアリーナの屋根改修が課題です。また、近年、高齢者の転倒予防教室など健康づくりに取り組んでいますので、B & G財団のご支援、ご指導をお願いします。



第4回「B&G全国市長会議」にご出席いただいた現職市長のみなさま



受付



会議風景



会議風景



活発な情報交換がされました



交流会



財団理事の岸ユキさんも会議・交流会に出席

第5回

B&G 全国教育長会議

“次世代の育成”をテーマに
家庭教育の重要性を再確認

2008.2.8(金)

第5回「B&G全国教育長会議」概要



～ 次世代の育成！家庭教育の重要性を再確認 ～

全国44道府県の代表32名の教育長、17名の教育次長など49名が出席

この会議は、「幼児教育の推進や青少年の健全育成を目指して、教育委員会との連携・協力体制を強化する」ことが目的で、今回のテーマは「次世代の育成」です。

当日は、全国44道府県の地域海洋センター連絡協議会を代表する32名の教育長ほか教育次長など49名が出席しました。



『親学を通じた地域の子育て』

特別基調講演
明星大学教授 高橋 史朗 様

子どもの脳の発達には臨界期があり、対人関係能力や自己制御能力はこの時期に身につきます。その時期を外さないように親がしっかり教育する必要があります。

子どもにとって、親は人生最初の教師です。親に対する指導がこれからの学校の役割として大事になってきます。「親が変われば子どもが育つ」という人づくりの国民運動を始めていきたい！！



「B&G全国教育長会議」の会則変更と正副会長の選任が行われました。

会 長：兵庫県南あわじ市教育長 塚本 圭右 様（中）
副会長：富山県高岡市教育長 村井 和 様（右）
副会長：栃木県那須烏山市教育長 池澤 進 様（左）

平成20年2月8日（金）

【B&G全国教育長会議】 日本財団ビル2F 大会議室 15:00～17:50

- | | |
|-----------------------------|------------------|
| 1. B&G財団の紹介（VTR） | |
| 2. B&G財団会長あいさつ | B&G財団会長 梶田 功 |
| 3. 来賓あいさつ | 日本財団会長 笹川 陽平 様 |
| 4. 特別基調講演 『親学を通じた地域の子育て』 | 明星大学教授 高橋 史朗 様 |
| 5. 「2007広報大賞」及び「B&G特派員」表彰 | |
| 6. 優良海洋センター表彰 | |
| 7. 「B&G全国教育長会議」会則変更と正副会長の選任 | |
| 8. 「B&Gプランの推進に向けて」 | B&G財団専務理事 広渡 英治 |
| 9. 海洋センター事例発表 「ブロック連協活動」 | 兵庫県南あわじ市 前谷 光宣 様 |
| 「特派員活動」 | 北海道鷹栖町 大内 義崇 様 |
| 10. 「B&G全国サミット共同宣言」確認 | |

【交流会】 日本財団ビル8F 18:00～19:00

来賓あいさつ



日本財団会長 笹川 陽平 様

日本財団とB&G財団は兄弟関係にあり、競艇の収益金により民間の活力をもって運営してきました。B&G財団では、既に30年も前から「知育・徳育・体育のバランスのとれた子どもを育てて行かないと今後の日本の発展はありえない」と、先見性を持って実施してきました。残念ながら現在も憂うべき状況が続いていますが、これは子どもたちの責任ではなく、このような日本の社会と子どもたちの環境を作ってしまった皆さんや私どもの責任であることを、まず自覚する必要があります。5年10年の長い間かかって日本の良き伝統や家庭のしつけなどが崩壊してきたことを考えれば、すぐに良くなることはありませんが、一歩大きく踏み出さなければさらに悪くなっていきます。

子どもを変えようとしても、我々親が変わらなければ子どもは変わりません。本日の講師、日本の第一人者である高橋先生による「親学」のお話をじっくりとお聞きください。

日本財団では、福祉車両の配備支援をはじめ郷土学の発掘、地域のNPOやボランティア支援という幅広い活動をしています。また、日本財団の情報公開として私のブログも公開していますので、ぜひご覧いただき、支援のご要望があれば日本財団にご相談ください。

テレビでは朝から殺人事件が報道されていますが、日本のメディアでは「悪いニュース」が、視聴者に売れる「良いニュース」で、このようなことは世界で日本だけです。潤いのある日本の社会を作っていくためには、メディアに取り上げられないような、人々が世の中のためにする小さな良いニュースをどんどん流していく必要があります。日本財団のメールマガジンでは人々の良いニュースを伝えて行くため、ユーチューブという映像でも流れるようになっています。日本財団の公開情報をご覧いただき、元気の出る地域コミュニティづくりをしてください。

B & G財団会長あいさつ



B&G財団 会長 梶田 功

本日は、教育現場を直接お預かりになっている教育長の皆さまに大勢お集まりいただき、大変嬉しく思っております。昨年、約60年ぶりに教育基本法が改正、これに併せて教育3法も改正され、目下、その取り組みの真っ最中かと思いますが、皆さまの日頃の教育行政に対するご尽力に深く敬意を表する次第でございます。

海洋センターは、1,400億円にも及ぶ競艇の貴重な収益金により、延べ2,200市町村の応募の中から480市町村に建設させていただきました。市町村合併により、海洋センターを有する市の数は48市から210市に増え、後背人口も750万人から2,400万人へと大幅に増加しました。今後さらに多くの地域住民の皆さまにご活用いただけるものと期待しております。

先般1月23日に行われた「第4回 B&G全国市長会議」には、250名を超える大勢の方々にご出席いただきました。この会議の中で、全国の海洋センターがより連携を深め、B&Gプランを積極的に推進することを確認いただいたところでございます。

最近、子どもを育てることが、たいへん難しい時代になりました。学校と家庭と地域社会が三者一体となって共同して、子どもたちを育てることが大切であると言っていました。家庭の崩壊や地域の崩壊などが取り沙汰されるような難しい時代になってきています。本日は、『親学を通じた地域の子育て』と題して、明星大学 高橋 史朗 教授にご講演いただきますので、「次代を担う子どもたちの育成」について、改めて考えていただければ幸いです。

B&G財団は、海洋センター・海洋クラブの皆さんと連携を深め、今後も健康で豊かな地域づくりにできる限りのご協力をさせていただきますので、より一層のご支援をお願いいたします。

特別基調講演「親学を通した地域の子育て」(要旨)

明星大学教授・埼玉県教育委員長 高橋 史朗 様



【プロフィール】

早稲田大学大学院修了後、スタンフォード大学フーバー研究所客員研究員。
臨時教育審議会(政府委嘱)専門委員、国際学校研究委員会(文部省委嘱)委員、神奈川県学校不適応(登校拒否)対策研究協議会専門部会長、青少年健全育成調査研究委員会(自治省委嘱)座長を経て、現在、明星大学教授。
著書に「親が育てば子は育つ」MOKU出版など多数。

以前、青少年の健全育成を考える政策研究会の座長を務めていただきたいと旧自治省から頼まれた際、「大人は変えないで子を変える」というこれまでの一方通行の考え方ではなく、「大人が変わらなければ子は変わらない」ということを、まず理解していただきたいと述べました。

また、体の面ばかりではなく、心と体の両方の視点で健康を考えるべきであるということも申し上げました。体力と学力の土台は生活のリズムです。生活のリズムを正さない限り、学力や体力の向上はありません、また、そのことを考えた場合、家庭や親が大きな鍵になります。

子どもの脳の発達には臨界期(タイミングを外せない必要不可欠な時期)があることが脳科学の研究で明らかになりました。たとえば、自立できないニートが生まれるのは対人関係能力と自己制御能力の欠如によるものです。人間力の要となるこの2つの能力が育つにも臨界期があるわけです。その時期とは、これまで日本人が「三つ子の魂、百までも」と言ってきたとおりであり(ユニセフ白書でも、脳の発達は3歳ぐらいにほぼ完了すると報告されている)、加えて「しっかり抱いて、下に降ろして歩かせろ」とも言ってきました。

ちなみに、しっかり抱くが愛着(母性原理)、下に降ろすが愛着からの分離(父性原理)、そして、歩かせることが自立です。つまり、自立しない若者が生まれたのは学校や教師のせいではなく、家庭教育、幼児教育に責任があるわけです。

しかし、このことを明確に認識してこなかったために、何か事件が起きるたびに校長先生が謝っています。そして、親がどう関わってきたのかを、もっと親たちに語りかけなければならないのに、未だに行政は家庭教育に介入すべきではないという過去の考え方にとらわれています。

戦後、誤った児童中心主義の育児法が広がり、それが家庭・幼児教育に及び、学級崩壊や家庭崩壊を招く要因にもなりました。学級崩壊は学校の問題ではなく、学校に入る前の家庭教育の問題です。幼児教育において、「ならぬものはならぬ」という秩序意識を教えてこなかったことによるものです。

欧米諸国では児童中心主義に対する反省を進めており、家庭教育をおろそかにした親に対して厳しく接する国が多くなりました。フランスでは子育てを放棄した親に対して罰金及び2年の拘禁刑を課しており、米国カリフォルニア州では、不登校児童の親に対して罰金を課した上、ボランティア活動を命じています。

日本でも、明治31年、高等小学校が保護者に配布した資料には、「家庭心得」として「教育の道は、家庭の教えで芽を出し、学校の教えで花が咲き、世間の教えで実がなる」と書かれています。今まさに、家庭の教え、世間の教えが衰退し、学校に批判が集中しており、保護者にどう対応するかが教育界全体の緊急課題となっているのです。

親学には「親になるための学び」と「親としての学び」の2つがあります。親は第一の教師であり、子供のことを思い、悪いことは悪いとはっきりさせ、真剣にしかり、厳しく罰し、子どもに課題を突きつける態度が大人や社会に求められます。

「母性的かわわりと父性的かわわりがこどもの自立の基盤となる」という親学の基本理論に立って、親としての成長を促し、母性・父性を豊かに育むことが重要な視点となっています。

こうした中で、「学校を親学の拠点にする」、そして、「親学アドバイザーを養成し学校に派遣する」といった2つの提言を行い、埼玉県で実践しているところです。

親学について一時「家庭教育は親の主観によるものであって、特定の価値観を強制するのは如何なものか」といった誤解がありましたが、何が子の脳や心を育むのかという科学的な視点に立てば、こうした誤解も乗り越えられます。実際、改正された教育基本法のなかに幼児教育、家庭教育という条文が入り、家庭、学校、地域の連携という条文が新設されたのは、まさに幼児期の教育の大事さが与野党の立場を超えて理解されたからにほかありません。

子育ては文化です。お祖父さん、お祖母さんから伝えられるべきその文化は、しっかり継承されなければなりません。かつてのように、子の発達段階に応じて「しっかり抱く」やさしさと「下に降ろす」厳しさを使い分ける必要があるのです。また、そうすることで脳や心の発達が促されるということを、脳科学を導入しながら多くの親に理解していただきたいと考えています。

「B&Gプラン」の推進に向けて（概略） ～ 幼児から高齢者までの"スポーツ・健康・人づくり" ～

（注）詳しくは6頁を参照



B&G財団
専務理事 広渡英治

"ハード"から"ソフト"へ

B&G財団は、財団設立30周年を機に事業の主軸を"ハード"から"ソフト"へと大きく転換するとともに、海洋センターへの各種支援の公正化を目的に「海洋センター評価」を行い、結果を公表しています。評価は特AからEまでの6段階で、各種支援を受けることができるB評価が全海洋センターの73%を占めるなど、海洋センターの活動や運営は大幅に改善されています。

海洋センターとのネットワーク強化

*ブロック連協会長（首長）が理事、評議員、専門委員などに就任

従来の「道府県連絡協議会」ほか、県を越えた活動の広域化と活性化のため、平成18年10月に全国10ブロックに『ブロック連絡協議会』が設立され、スポーツ大会や地域間交流などが行われています。『ブロック連絡協議会』の会長である首長の皆さまには、財団の理事、評議員、専門委員などにご就任いただいております。

*海洋センター所在自治体との人事交流

平成15年からの5年間で自治体職員16名が研修に参加。また、財団職員を全国の各ブロック担当に任命、これまでに14名の職員を自治体へ派遣し双方向の人事交流を実施しています。

修繕助成の新たな支援

平成5年から18年までの12年間（平成11・12年度は事業休止）で、627施設、総額33億円の助成を実施。今回、新たに、「艇庫のトイレ・シャワーの新・増設に対する助成」及び「海洋センターの機能変更・移転についての助成」並びに「通常修繕の2回目以降の申請」の3つのメニューを設けました。

修繕助成の適用範囲が大きく広がりましたので、ぜひご活用いただき、海洋センターの機能向上、利用者満足度の向上に努めてください。

財団からのお願い

***B&G指導者の養成と配置：**海洋センターは、施設の適正な維持管理、最新の指導技術等を身につけた指導者が、様々な海洋センターの活動を通して、礼と節を教え、B&Gプランを推進する施設です。今年から3年間、B&G指導員の養成研修の参加費を免除しておりますので、ぜひ新しい指導者の養成をお願いします。

***指導者会の設立推進：**B&G指導員の有資格者の人材活用として、所属部署を超えた指導者会の組織化をご検討いただきますようお願いいたします。

***財団事業の積極的な導入：**財団では"ハード"から"ソフト"への転換を機に、さらにスポーツと健康、海洋教育に関するプログラムの開発・普及に努めており、他団体との連携協力事業も積極的に推進しています。財団各種事業を導入いただき、地域住民の健康づくりに貢献してください。

「2007B&G広報大賞」表彰

B & G財団では、海洋センター・海洋クラブの活動を広く周知するため、積極的な広報活動を展開し、B & Gプランの推進に尽力した海洋センター・海洋クラブの表彰を毎年行っています。

審査にあたっては、各分野のスペシャリストの方々による審査委員会を開催し、「テレビの部」「新聞の部」「ホームページの部」「地域広報の部」の4部門の“優秀賞”及び“大賞”を選出。

当会議において、広報大賞及び優秀賞を受賞した4センターを表彰しました。

また、新たに「B&G特派員の部」が設けられ、特派員2名を“特別賞”として表彰しました。

広報大賞は滝川市B&G海洋センター（北海道）が受賞！



「テレビの部」

- ★ 北海道 滝川市
- ★ 富山県 高岡市福岡
- ★ 佐賀県 鹿島市

「新聞の部」

- ★ 北海道 滝川市

「地域広報の部」

- ★ 岐阜県 可児市

「特派員の部」

- ★ 北海道ブロック特派員
北海道 鷹栖町 大内義崇さん
- ★ 近畿ブロック特派員
兵庫県 南あわじ市南淡 前谷光宣さん

【審査委員のコメント】



審査委員長
女優・B&G財団理事
岸 ユキさん

審査委員会では、委員の皆様の見解が飛び交い、大変熱心に審査をしていただきました。当然意見の違いもありましたが、結局は、わかりやすく、楽しく、見となる広報。また地元のマスメディアといかに連携をとっているか、継続性があるか、B & G財団の活動が正しく伝えられているかといったようなところが重視されたと思います。広報の大切さという意味でも、年々各部門において、グレードアップしていることは素晴らしいですね。



作家
B&G財団評議員
神津 カンナさん

広報が、単に広告、宣伝、お知らせだけの時代は終わりました。人々が何を求めているのか、何を知りたいのか、ということ、きちんと把握し、それを的確な媒体を通じて、どれだけ効果的に伝えられるか。そして双方向でつながる道を確認してあるかが求められています。広報という概念を見直しながら、時代に合った効果的、斬新な手法を今後も模索してください。



船社 常務取締役
B&G財団評議員
田久保 雅己さん

日頃の活動がいかに周囲の人々の心を動かすか。その点が大きなポイントになったように思います。特に、大賞に輝いた滝川市B & G海洋センターのテレビ映像は、愉快で、爽やかで、分かりやすく、カヌーで水上を走る感覚を「水鳥の視線」と表現するなど粋なコメントも盛り込まれており、楽しさが伝わってきました。おそらく、この映像を見た多くの方々が、「ほー、楽しそうじゃないか。私にも出来そう。今度行ってみよう」と思ったに違いありません。



読売新聞東京本社
社会部長
中井 一平さん

受賞者の皆様、おめでとうございます。審査に加わって3年目になりますが、年々、各部門のレベルは高くなっており、活動の充実ぶりが広報の側面からもうかがえるようです。今回、特派員部門を新たに設けたのは、広報活動の横の広がりという意味から、時宜にかなったものと考えます。今後とも一層、各種広報が深みを増すよう祈念してやみません。



共同通信社
業務局 局次長
下釜 正利さん

「B & G広報大賞」の応募作品が、今年は前年を400件も上回ったことは全国の海洋センター・海洋クラブの広報活動が、一段と活性化していることを示すもので、大変喜ばしく感じました。広報活動は、マスコミに海洋センター・クラブの活動内容を単に知らせるということにとどまらず、ひとひねりしたニュース性の高いものに工夫することが大切だと思います。優れた作品が今後も全国から多数応募されることを期待したいと思います。



コニカミノルタフォトクラブ講師
日本写真家協会会員
山下 勲さん

審査を通じて、B & G財団が、青少年の健全育成を礎に発足し、ハードからソフトへ、レクリエーションから次のステップへと活動を展開している状況が感じられました。活動を広く社会に周知するには、情報提供の量と質そしてユニークさ（新しい取組）だと思います。今後新しい取組に挑戦しているエネルギー集団を評価していきたいと考えています。



メイストームコミュニケーションズ
取締役社長
久米田 襄さん

私には、今回で2回目の審査委員会となりましたが、以前にもまして選考に苦慮しました。各部門で優秀作品が多く、すべてに関し甲乙つけがたかったため審査員泣かせだなと感じました。次の「B & G広報大賞」にも期待しております。



ロボット
ウェブコミュニケーション部長
加藤 雅章さん

受賞者の皆様、おめでとうございます。日々のご努力が今回の受賞という結果につながったのだと思います。最近、ブログを活用して、日々の活動を逐次報告している海洋センター・海洋クラブが増えてきていることは大変良いことだと思います。是非今度はウェブサイトでの広報活動にもチャレンジしてみてください。



B & G財団
専務理事
広渡 英治

今回、この「B & G広報大賞」には、昨年を400件も上回る2,266件の応募をいただきました。各分野から8名のスペシャリストの方々に審査委員をお務めいただき、専門的な見地から厳正に審査が行われ、大賞、優秀賞、特別賞がそれぞれ選出されました。この広報大賞が、海洋センター・海洋クラブの皆さんの“励み”となり、今後の活動がさらに活発化していくことを期待しております。

優良海洋センター表彰

B & G財団では、全国480海洋センターに対して公正な支援を行うため、「特A」から「E」までの6段階による海洋センターの評価を行っています。今回は、昨年10月の評価において、「A」に評価された83ヶ所のうち、当会議に出席いただいた6センターを表彰しました。

「A」 評価の海洋センター



全国教育長会議出席センター（6ヶ所）

- ★ 青森県 南部町名川
- ★ 石川県 穴水町
- ★ 長野県 飯綱町三水
- ★ 高知県 四万十町窪川
- ★ 福岡県 朝倉市甘木
- ★ 熊本県 美里町砥用

海洋センター事例発表

「B&Gプラン」の推進に向けて道府県と全国の各10ブロックには、「海洋センターの連絡協議会」がそれぞれ設置されており、地域ごとに特色のある活動や大会が開催されています。

また、それらの活動を広く社会に周知するため、今年度より「B&G特派員」制度を導入いたしました。各ブロックのB&G特派員による地元で根ざした広報活動は、B&G財団の情報発信、情報公開に大きく貢献いただいております。

これらについて、海洋センター担当職員のお二人に事例発表していただきました。

＝ブロック連絡協議会活動について＝



南あわじ市南淡
B & G 海洋センター
前谷 光宣氏

「近畿ブロック連絡協議会の活動」について、兵庫県南あわじ市南淡B & G 海洋センターの前谷光宣さんから、海洋センター同士の情報交換や人的交流などに力を入れたブロック活動の現状を報告。その中で、「指導者のスキルアップとともに、行政区の枠を超えて、特色ある事業が実施できた」などの成果を報告されました。

＝B&G特派員について＝



鷹栖B & G 海洋センター
大内 義崇氏

「B & G特派員の活動」について、北海道ブロック特派員の鷹栖町B & G 海洋センター大内義崇さんから、ブロック内の情報収集、広報活動の状況について報告するとともに、「特派員の活動を通して、ブロック内の連携・協力の大切さを実感した」との報告をされました。

第5回「B&G全国教育長会議」を終えて

「B & G 全国教育長会議」参加教育長感想等



兵庫県南あわじ市 教育長
B&G全国教育長会議会長
塚本 圭右 様

▶ 感想・今後期待すること

B & G財団、日本財団皆様の人柄の良さにふれられたこと、そして全国教育長会議の運営を一生懸命サポートしていただき、熱心にお世話下さいましたことに対して、深甚なる敬意と感謝を申し上げます。会議に於いては、広渡専務様をはじめとして微に入り細にわたる説明と特派員等事例発表により、財団事業の活動内容を詳しく理解することが出来ました。又、楽しく有意義な交流会を計画いただき、今後の活動に意欲を覗かせる教育長さんのスピーチが多くあり、今後は、教育長会議の中で発表する機会を与えてあげられたらと思います。

身に余る高い評価をいただいた南あわじ市南淡海洋センターとしては、更に引き続き、温かいご指導、ご支援をお願いすると共に、教育長会議の今後の果たすべき役割、進むべき方向についてもお示しいただければ幸せに思います。



富山県高岡市 教育長
B&G全国教育長会議副会長
村井 和 様

▶ 感想・今後期待すること

合併前の旧福岡町に福岡B & G海洋センター（平成2年竣工）が設置されていたおかげで、今回初めて高岡市として出席させていただきました。これまでのB & G財団からの温かいご指導とご支援に感謝するとともに、今回の特Aの認定及び広報大賞の授与に心からお礼を申し上げます。事例発表や交流会の中で、本市以上に活発に活動しておられるセンターのお話を聞くことができ大変参考になりました。また、一度お会いしたいと思っていた高橋史朗先生の講義では、感動とともに自信と勇気を与えていただき、ありがとうございました。



栃木県那須烏山市 教育長
B&G全国教育長会議副会長
池澤 進 様

▶ 感想・今後期待すること

日本の政治、文化、経済の中心地、東京は日本財団を会場とする「第5回全国教育長会議」に全国津々浦々から多くの教育長が参集されていることに驚き感動いたしました。貴財団の高邁なるテーマ「全国民のスポーツ、健康、人づくりを目指して」に共感する方々が全国各地にいらっしゃることを喜び、心の安らぐ思いを致しました。日本財団笹川陽平会長様、明星大学教授高橋史朗様の貴重なご講演を拝聴し、これからの日本を支える子ども達の健全育成の実践に新たな示唆と自覚を脳裏に刻んだところであります。最後に第5回全国教育長会議にお招きいただきましたことを心より感謝を申し上げます。お礼といたします。

不躰にて申し訳ございませんがお許しください。栃木県は海岸線を持たない海なし県であり、本市も例外ではございません。貴財団のお陰にて満々と水をたたえるプールを設置していただき、幅広い老若男女のスポーツ、健康づくりの親水施設として活用させていただいており心から感謝を申し上げます。財政力の弱い本市では修繕、補修にまかなえない所もございますゆえ、貴財団のお力添えいただきたく勝手とは存じますがお願い申し上げます。



北海道厚岸町 教育長
富澤 泰 様

▶ 感想・今後期待すること

大変貴重な講演を聞かせていただきました。今、どこの自治体も「きれる子ども」「学級崩壊」「モンスターペアレント」など、家庭教育にかかわる問題をどう解決してよいか、悩んでいます。「親学」はひとつの大きな方向性を示してくれるものと期待できます。大変参考になりました。また、事例発表は全国のB & G海洋センターがとてすばらしい取り組みをしていることがわかり、全国の教育長によいアピールになったと思います。1日程度ではきついかもかもしれませんが、もう少し事例発表や各地区の教育長さんのご意見を聞く時間があってもよかったように思います。交流会では、多くの方とお話することができました。大変有意義な時間を過ごすことができました。このような機会を提供してくださったB & G財団の皆様に心より感謝申し上げます。

「親学」の普及は全国で求められている取り組みであると考えます。高橋先生の講演会をはじめ、親学アドバイザー育成講座、認定講座の開催を援助、支援していただくことを要望いたします。



青森県南部町 教育長
角濱 清輝 様

▶ 感想・今後期待すること

全国の教育長様方と情報交換ができ、大変参考になった。B & G事業の概要が理解でき、今後の事業展開に大きな収穫が得られた。基調講演では、現代の学校教育の悩み解決のために必要な内容のお話を拝聴し、勉強になった。今回初めての参加であり、大変勉強になりました。また、会長以下、B & G財団運営に対する情熱を強く感じ、当方の事業充実に努めなければならないと決意を新たにいたしました。



岩手県普代村 教育長
熊坂 伸子 様

▶ 感想・今後期待すること

教育長となってまだ2年目ということもあり、村にB & G海洋センターがあるにもかかわらず、B & G財団についてほとんど知識がありませんでした。今回、岩手県連絡協議会の事務局を担当した関係で、岩手県から私が出席させていただきました。梶田会長様、笹川日本財団会長様他の皆様のお話を伺い、いただいた資料に目を通す中で、その活動内容を認識させていただきました。青少年の健全育成や、地域住民の健康づくりを目的とする「B & Gプラン」構想、及び、海洋センターの活動を周知させるための広報活動など、幅広い社会貢献活動に心より敬意を表するものです。また、高橋教授のお話は、共感できるところが多々ございました。これからの本村の家庭教育、社会教育の進め方に大きな参考となりましたことを感謝申し上げます。ありがとうございました。貴財団の益々のご発展をご祈念申し上げます。



秋田県八郎潟町 教育長
野村 勇一 様

▶ 感想・今後期待すること

「B & G全国教育長会議」には、初めて参加させていただきました。今回の教育長会議に出席して、水（プールや海・マリンスポーツ）を通じた、子供たちの「こころ」と「からだ」の健全育成をはじめ、地域住民の健康づくりなど、B & G財団が実施している様々な活動を知ることができました。本町でも、B & G財団のご指導をいただきながら、施設の有効活用、各種事業を充実し、地域住民の健康づくり・人づくりを図っていきたい。



茨城県行方市 教育長
額賀 旭 様

▶ 感想・今後期待すること

職員ひとりひとりが、真心を込めて来客を接待する姿は、一流のホテルマン以上であり、会議もてきばきと進行され、貴財団の職員指導に感心しました。事例発表も充実した活動ぶりが報告され、おおいに参考になりました。そして、高橋史朗氏の講演により、改めて「親学」が現在の日本に必要であることを痛感いたしました。B & Gが「親学」の普及に努めておられることに敬意を表します。



群馬県板倉町 教育長
今村 好市 様

▶ 感想・今後期待すること

日本財団やB & G財団の活動方針等を改めて再認識できた会議であった。教育の原点であり日本の文化でもある親のあり方「親学」の講演が今後の教育行政に大変参考になった。



石川県穴水町 教育長
今町 貞夫 様

▶ 感想・今後期待すること

初めて出席させていただき、B & G財団役職員の方々や全国各自治体の教育長方と貴重な意見交換の場となりました。また、思いもしなかったA評価までいただき恐縮すると同時に、B & G財団との密接な連携が重要であることを感じた次第です。平素はもちろんのこと、特に今年度は能登半島地震に伴い修繕助成をいただいていることに感謝いたします。過疎化が著しい本町ではありますが、青少年の健全育成に対し今後も多方面からのご指導をいただければ幸いです。また、貴重な意見交換や交流の場の定期的開催をぜひ要望します。



福井県越前町 教育長
三上 悠紀夫 様

▶ 感想・今後期待すること

この度「B & G 全国教育長会議」に出席させていただき、笹川会長のご挨拶を始めとし、高橋先生による基調講演、全国各地のB & Gセンターによる取組みの発表など、教育に携わる者として大いに活用できる会議メニューであったと思っております。今後は、当町のB & G海洋センターを核としたスポーツの振興はもちろんのこと、今回の会議で得られた教育理念を参考にしながら、地域の活性化を図ってまいりたいと思っております。また、B & G財団の皆様方には、日頃からの御指導、御鞭撻に感謝しておりますとともに、今後も様々な情報提供や交流会の開催など、B & G理念の啓発に御尽力されますことを切にお願いいたします。



山梨県中央市 教育長
比志 保 様

▶ 感想・今後期待すること

適切な議事内容や時宜にかなったすばらしい高橋先生の御講演、大変勉強になりました。また、事務局の皆様方のこまやかな御配慮、ありがとうございました。今後共、よろしく御指導の程お願い申し上げます。



長野県飯綱町 教育長
相澤 壽 様

▶ 感想・今後期待すること

全国480市町村の海洋センター代表の一員として、会議に出席させていただき、同時にA評価海洋センターとして、表彰していただいたことに、深く感謝申し上げますと同時に、基調講演「親学を通じた地域の子育て」に感銘しました。



岐阜県可児市 教育長
井戸 英彦 様

▶ 感想・今後期待すること

今回の全国教育長会議でとても有意義だったことは、高橋先生の基調講演でした。機会を作って是非我が市の連合PTA等の講演にお招きしたいものです。保護者に川島隆太先生のお話を聞かせた時も、とても説得力がありました。学術的な専門の話は、人に話を聞かせます。



静岡県芝川町 教育長
佐野 實 様

▶ 感想・今後期待すること

大変お世話になりました。基調講演は、青少年の健全育成のための大きな鍵となる家庭教育の視点からタイムリーな内容で、大変参考になりました。表彰式では、受賞された関係教育長の誇らしげな姿に、少し羨ましさを感じると共に運営上の工夫の必要性を改めて強く感じたところです。



愛知県新城市 教育長
和田 守功 様

▶ 感想・今後期待すること

新城市教育委員会としては、市町村合併して、初めてのB & G全国教育長会議への参加でしたが、正直、多くの収穫がありました。B & G財団の皆様方の「スポーツ・健康・人づくり」にかけける熱い思いも体感できましたし、高橋教授の「親学」の基調講演も、まさに日本の直面する課題への正面からの取り組みで共感いたしました。また、交流会での各県の代表教育長との情報交換も、共通の悩みや土地柄の違いが理解でき、有意義なひとときでした。



三重県亀山市 教育長
伊東 靖男 様

▶ 感想・今後期待すること

第5回「B & G全国教育長会議」では、明星大学教授 高橋様による特別基調講演など、大変有意義な内容の会議に出席させていただきました誠にありがとうございました。各市の事例発表など特に参考になりました。今後も利用者へのニーズに応え、ますますのB & Gの活性化に努めてまいりたいと思います。当日大変お世話いただきました職員の皆様に宜しくお伝えいただきますとともに、今後とも一層のご支援を宜しく願います。



京都府京丹波町 教育長
寺井 行雄 様

▶ 感想・今後期待すること

全国各地の海洋センターでの様々な取り組みを知ることが出来、今後の取り組みの参考とさせて頂きたいと思っております。又、基調講演では、教育行政の大きな課題であります青少年健全育成という観点から「親学」を積極的に推進されている明星大学 高橋史朗教授による関係法令解説や提言には感銘を受け、講演内容を我町に照らし合せて、改めて学校教育、社会教育の中で生かして参りたいと考えております。



大阪府能勢町 教育長
前田 満 様

▶ 感想・今後期待すること

いつも御支援ありがとうございます。今回はじめて参加しましたが、日本財団、B & G財団について理解を深めることができました。各地の実践は今後の取り組みの参考とさせていただきます。親学を提唱されている高橋教授の熱い講演もとても良かったです。大いに参考とさせていただきます。



和歌山県広川町 教育長
下出 勲 様

▶ 感想・今後期待すること

高橋教授の基調講演に感銘を受けました。メモを取りながら気持ちを集中させて聞かせていただきました。「大人が変わらなければ子どもは変わらない」まさにその通りだと思います。「しっかり抱いて下におろして歩かせろ」昔からの子育ての知恵を若い親たちに教えなければ……。そして何より若者に身につけてほしいのは人間力（対人関係能力と自己制御能力）……。全て核心をついたお話でした。参考にさせていただきます。



鳥取県北栄町 教育長
岩垣 博士 様

▶ 感想・今後期待すること

受付の時点からの対応が素晴らしいと思った（笑顔、言葉など）。高橋先生の基調講演は、時期を得た内容でわかりやすかった。広報大賞表彰のテレビが放映され、取り組みがよくわかった。映像で紹介していただくとよく理解できると思った。



島根県江津市 教育長
野上 公司 様

▶ 感想・今後期待すること

B & G財団会長のご挨拶で財団設立以来、理念が一貫して受け継がれ実践されていることに先ず感動すら覚えました。笹川陽平日本財団会長様の来賓としてのご挨拶、非常にソフトな語り口で、実践に基づく公益事業素晴らしいものと思います。元気の出る地域づくりについての支援をというお話、大変うれしく思いました。高橋明星大学教授の基調講演、行政に携わる者として、反省を含めて改めて考えさせられる点がありました。中でも親学推進は教育行政の役割という点、しっかりと受け止めさせていただきました。



岡山県和気町 教育長
朝倉 健作 様

▶ 感想・今後期待すること

全国の取り組みを聞かせていただき大変参考になり、わが町もがんばらなければと感じました。基調講演「親学を通じた地域の子育て」は、大変いいお話でした。地域社会が一体となって家庭教育を支援する体制を整備していくことが必要であり、子育て支援体制整備が教育委員会の任務であると感じました。大変ありがとうございました。



山口県岩国市 教育長
磯野 恭子 様

▶ 感想・今後期待すること

初めて教育長会議に参加しましたが、B & G 全国教育の目標や実績の確かさを知りました。全国210市、2,400人が参加し、水泳スポーツを通して基礎体力をつけ、一般市民の健康づくりにも成果を上げるなど、海洋センターの果たす役割の大きさを認識しました。また、基調講演で高橋教授の「親学を通じた地域の子育て」は、科学的データに基づく話も大変良かったです。



愛媛県久万高原町 教育長
川本 博文 様

▶ 感想・今後期待すること

B & G 財団の活動内容、B & G プランの推進等についてよく理解できました。基調講演「親学を通じた地域の子育て」は大変印象的でした。親学アドバイザーの養成については検討したいと思います。



福岡県朝倉市 教育長
宮崎 成光 様

▶ 感想・今後期待すること

大変有意義な会議に参加することができました。ありがとうございました。朝倉市にありますB & Gの施設は、これまで学校教育におきましても活用させていただいていましたが、財団設立の趣旨等を理解することで今後の活用がより意義深いものとなると感じました。親学についての高橋史朗先生のご講演で、これまで考えていましたことの理論的な裏づけが明確になりました。今後ともご指導をお願いします。



佐賀県鹿島市 教育長
小野原 利幸 様

▶ 感想・今後期待すること

「親学」に関する高橋史朗教授の基調講演は、教育現場の最前線で苦悩する学校や市教委への力強いエールとして受けとめさせていただきました。なお、当市は広報大賞「テレビの部」で優秀賞をいただき、ありがとうございました。日ごろからの厚いご支援に感謝申し上げます。今後ともよろしくお願いいたします。



熊本県美里町 教育長
日方 和義 様

▶ 感想・今後期待すること

初めての出席でしたがほとんどの施設から出席があり、B & G活動への期待度が理解されました。又、基調講演していただいた、高橋先生の「親学を通じた地域の子育て」は大変参考になり、今後特に必要とされる家庭教育を進める上で示唆をいただきました。



大分県宇佐市 教育長
半田 剛 様

▶ 感想・今後期待すること

教育長会議では大変お世話になりました。会場に行くのにタクシーに乗りましたら笹川先生がお母様をおぶっている像のあるビルの前で降ろされました。先生のご尊志が都民の方々の中に広く語り継がれ親しまれていることに感心いたしました。又、本市の他に200余市に海洋センターが設けられ多くの方々が関わり、人づくりに大きな努力をはらわれていることにも驚かされました。高橋先生のご講演もすばらしく、充実した会に参加させていただいたことに感謝を申し上げます。



宮崎県南郷町 教育長
谷口 顕 様

▶ 感想・今後期待すること

短時間でしたが、色々な情報をいただきありがとうございました。基調講演「親学・子育て」は古くて新しい悩みで、日頃から考えねばと思っていました。理論に裏打ちされたビシッとしたお話をいただき感激し、反省もさせられ、大変参考になりました。校長会やPTA等での講義やあいさつの中で、紹介や引用・活用させていただきたいと思います。大変有意義な会でありありがとうございました。



鹿児島県指宿市 教育長
田中 民也 様

▶ 感想・今後期待すること

短時間のスケジュールの中に、私どもが今後行政を推進してきます時の方向性、また現在の教育の動向など、誠に示唆に富んだ会議を設定して頂き、心から感謝申し上げます。このような充実した会議は初めてでした。ありがとうございました。地方にいますと、現代の課題、施策など、認識が遅いところもあります。今後とも研修の機会等を設定下さいますようお願い致します。



沖縄県本部町 教育長
田場 直樹 様

▶ 感想・今後期待すること

今回はB & G全国教育長会議を開催してくださり、ありがとうございました。特に高橋明星大学教授の「親学を通じた地域の子育て」は、本町においても取り入れなければならない課題等も多く、大変参考になる講演でした。また各海洋センターで活躍されている「事例発表」ではセンター職員の生の声を聞き今後の我が国の青少年育成活動の明るさを感じました。これからのB & Gプランのますますの発展を祈念しております。



第5回「B&G全国教育長会議」にご出席いただいた現職教育長のみなさま



受付風景



会議風景



会議風景



交流会



活発な意見交換がされました



新聞社の取材を受ける南あわじ市の塚本圭右教育長

第2回「B&G全国サミット」共同宣言

1、海洋センターとの連携

B&G財団と全国401市町村との連携をさらに深め、一丸となって“B&Gプラン”
＝スポーツ・健康・人づくり＝を推進する。

1、施設の運営と管理

市町村合併の有無にかかわらず、今後も“B&Gプラン”の趣旨に則り、全ての施設について善良なる維持・管理に努め、運営にあたっては“B&G指導員”を適切に配置する。また、その推進のため“B&G指導者会”を設立し、その活用を図る。

1、積極的な事業の推進

“B&Gプラン”の理念を再認識するとともに、B&G財団が実施する新たなソフト事業を最大限に活用し、青少年の健全育成と地域住民の健康づくりを積極的に推進する。

1、情報・ノウハウの共有

海洋センターの情報・ノウハウを共有し、コンパスと人的ネットワーク、そしてブロック連絡協議会を通じて地域交流の促進及び地域海洋センターの活性化を図る。

2006年11月14日

海洋センター所在地首長一同

ブルーシー・アンド・グリーンランド財団



ブルーシー・アンド・グリーンランド財団

〒105-8480 東京都港区虎ノ門1-15-16 海洋船舶ビル9F

電話03-5521-6740(代)／03-5521-6745

<http://www.bgf.or.jp/>